



2021年5月12日

各 位

会 社 名 日本石油輸送株式会社
代表者名 代表取締役社長 原 昌一郎
(コード番号：9074 東証第一部)
問 合 先 取締役執行役員総務部長 松井 克浩
兼資産運用部長
(TEL. 03-5496-7671)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2021年度～2023年度までを対象とした中期経営計画を策定しましたのでお知らせします。
詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

(添付資料)

日本石油輸送株式会社中期経営計画 2021年度～2023年度

以 上

日本石油輸送株式会社 中期経営計画2021-2023年度

Shift for the Next

安全の徹底と質の高いサービスで未来への責任を果たします

2021年5月12日

JOT 日本石油輸送株式会社

Shift for the Next

安全の徹底と質の高いサービスで未来への責任を果たします



エネルギー、生活必需品の安全・安定輸送

付加価値の高い物流ソリューションの提供

SDGsへの貢献

JOTグループ
ミッション

安全

フェア

信頼

チャレンジ

ハーモニー

外部環境

当社への影響

■エネルギー構造の変化

- ▶ 脱炭素社会実現に向けた取組み加速
- ▶ 環境負荷の少ないエネルギーへ

●石油製品輸送の減少

●低・脱炭素エネルギー輸送の増加(LNG・水素等)

●国内貨物輸送需要の減少

●海外化成品輸送の増加

●乗務員不足と賃金上昇

●新技術による省力化と生産性の向上

■少子高齢化の進展と
ライフスタイルの変化

- ▶ 生産年齢人口減少による労働力不足
- ▶ シェアリング・エコノミーの拡大

■グローバル化と地政学リスク

- ▶ アジアを中心とした新興国の経済発展
- ▶ 大国間での覇権争い（米中摩擦）

■技術革新・デジタル化

- ▶ IoT/AI技術の進歩と普及
- ▶ ビジネス環境の劇的変化
- ▶ 経済の「ソフト」化

新たなリスク

■パンデミックリスク

- ▶ 経済活動停止による景気低迷
- ▶ リモート社会の加速

■ 事業基盤の再構築

- 石油製品輸送、国内貨物輸送での収益の維持・確保
- 生産性の向上
- 安全設備への積極投資

■ 成長に向けた取り組み

- 成長事業での新たな市場開拓
 - ・ 低・脱炭素エネルギー輸送需要
 - ・ 海外化成品輸送需要
- 新規事業の調査・研究

持続的成長に向けた 事業基盤の強化

■ ESG経営の推進



- E : クリーンロジスティクス実現への取組み
- S : 社会的課題解決への取組み
- G : ガバナンスの強化

数 値 目 標		2020年度	2023年度	増減
	売上高 ^(※)	323億円	351億円以上	+28億円以上
	営業利益 ^(※)	14億円	18億円以上	+4億円以上
	経常利益	15億円	19億円以上	+4億円以上
	R O E	4.6%	6.0%程度	
	投資総額 (3年間)	2020年度 (単年度) 40億円	110億円以上	
	配当	1株当たり (年間) 100.0円 (記念配当20.0円含む)	1株当たり (年間) 100.0円	

(※)売上高と営業利益は「収益認識に関する会計基準」の適用と賃貸不動産に関する当社での会計方針の変更を2020年度において行ったものと仮定して算出したものです。

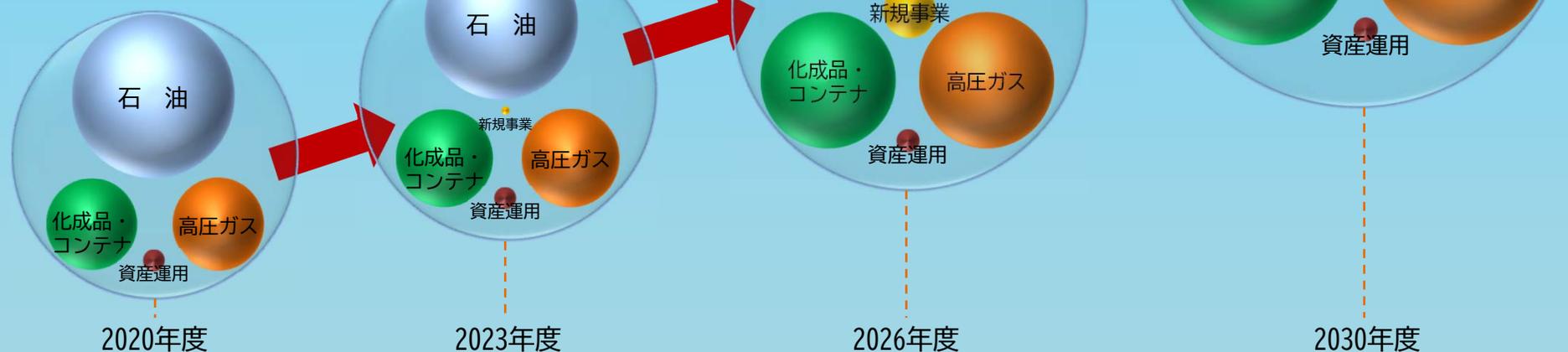
- ・安全・安定輸送維持向上のための投資と施策
- ・ポートフォリオ再構築による収益基盤の強化

国内No.1のエネルギー輸送会社

選ばれるJOTグループ

- ・強い収益基盤
- ・安定した財務

売上高

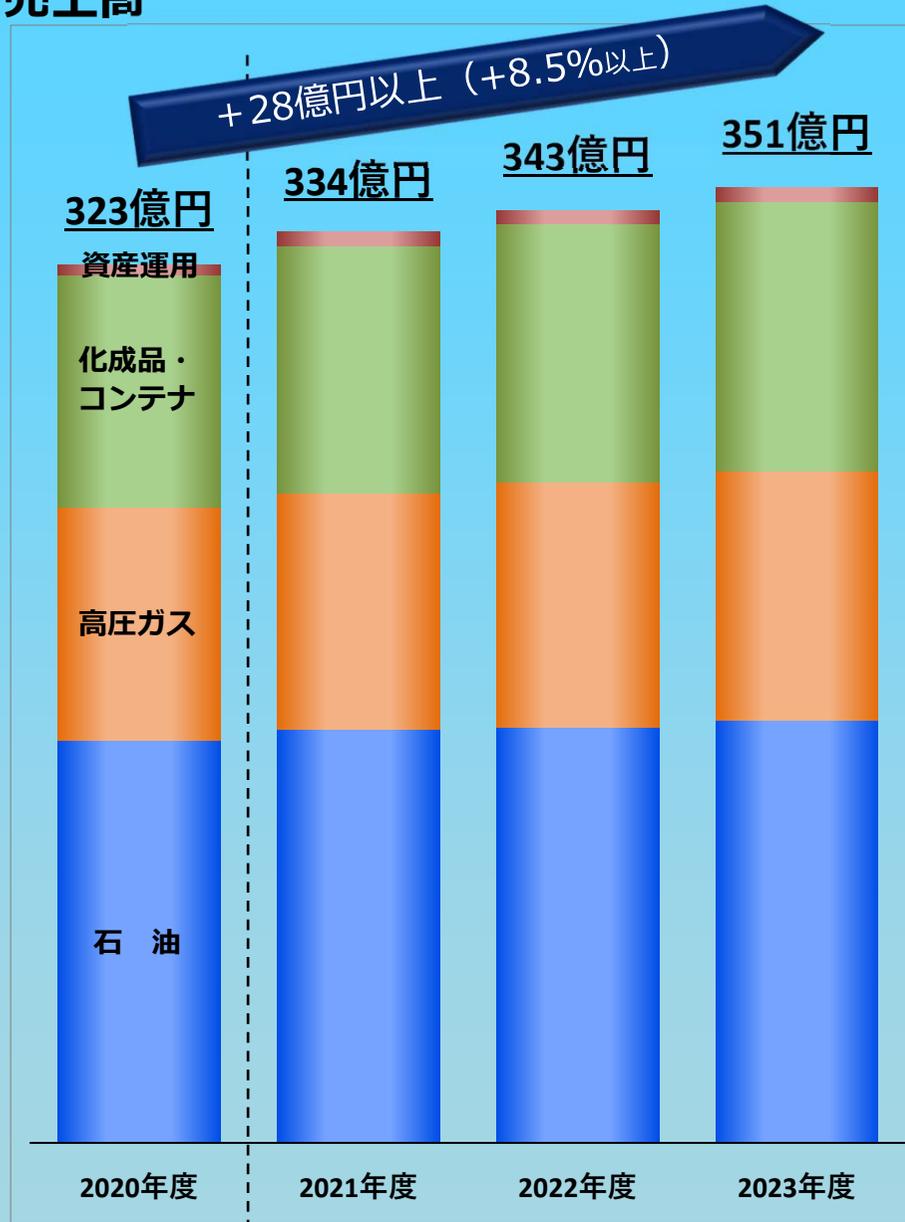


持続的成長に向けた
事業基盤の強化

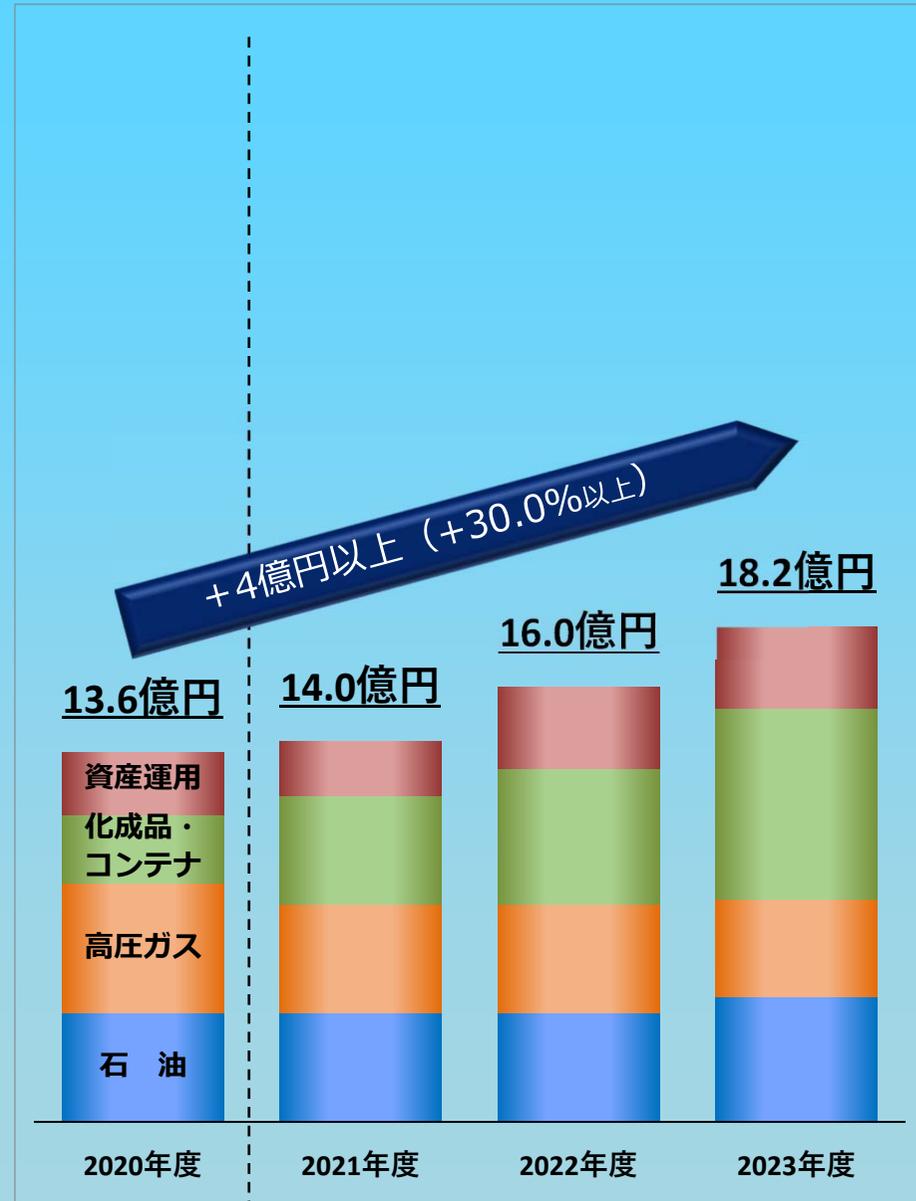
ポートフォリオの再構築
成長事業への投資
積極的なM&A

ESG経営の推進

売上高



営業利益

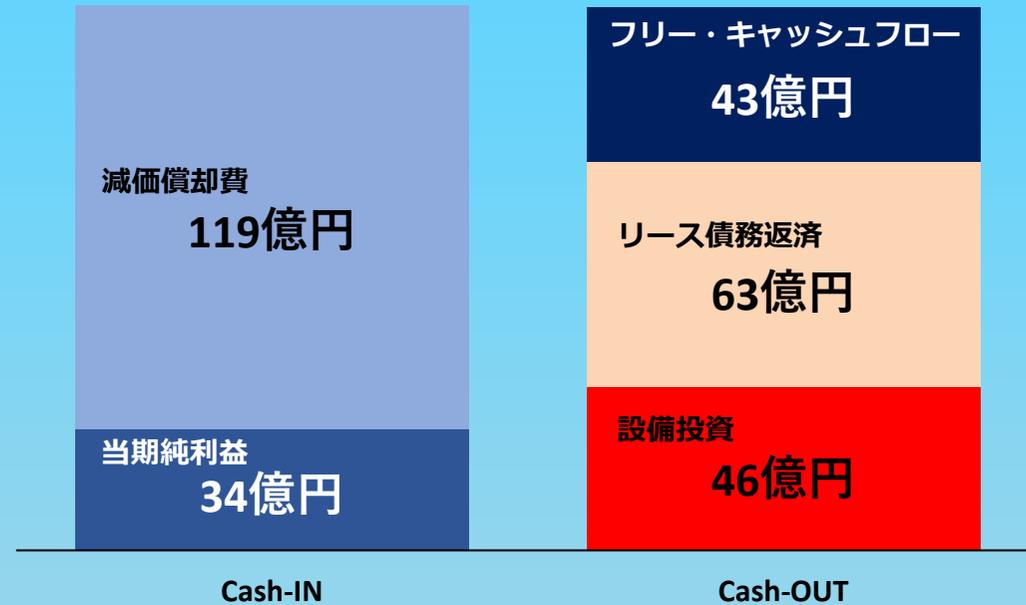


(注) 2020年度の売上高と営業利益は、2021年度以降の「収益認識に関する会計基準」の適用と賃貸不動産に関する当社での会計方針の変更を行ったものと仮定して算出したものです。

設備投資（3年間合計）

キャッシュ・フロー（3年間合計）

110億円



- 投資の厳選
- 次期中計に向けた資金の確保
(成長事業・新規事業への投資)
- 株主還元

2021 - 2023年度 ※リース投資資産含む

■ 輸送数量

- 需要減少の中で、鉄道タンク車輸送とタンクローリー輸送の二つの輸送モードの堅持と新規輸送の取り込みにより、輸送数量の維持・拡大を図る

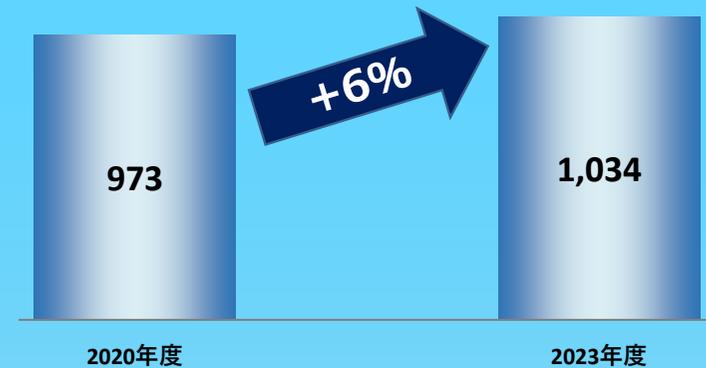
■ 鉄道タンク車輸送

- 環境負荷が小さい鉄道輸送の強みを活かす
- システム化の推進等業務の効率化による収益性の向上

■ タンクローリー輸送

- 安全・安定輸送への積極的な投資
- 顧客からの信頼向上による新規輸送の取り込み

■ 輸送数量（単位：万KL）



石油鉄道タンク車

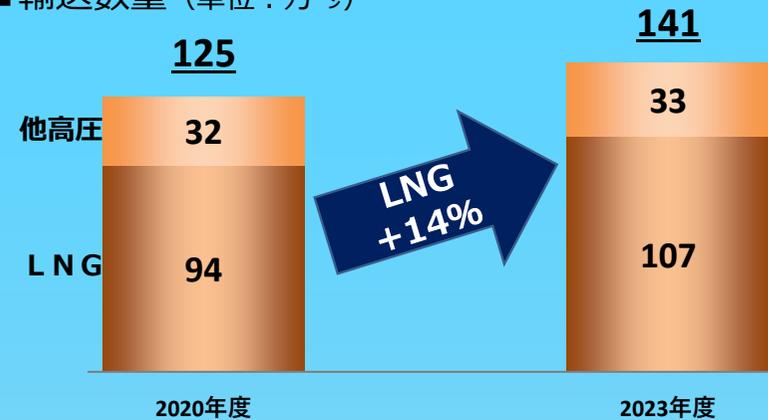


石油タンクローリー

■ 輸送数量

- 液化天然ガス（LNG）は、低炭素社会の実現に向け需要増となり、確実なる取り込みで年間100万トンを突破

■ 輸送数量（単位：万トン）



■ LNG輸送

- 安全・安定輸送への積極的投資
- 長年の経験と安全教育による安心・信頼の物流提供

■ クリーンエネルギー輸送

- 脱炭素社会に向けたクリーンエネルギー輸送への取り組み
 - ・ 水素輸送のさらなる拡大
 - ・ アンモニア他への対応



LNGタンクローリー



FCV（燃料電池自動車）

■化成品輸送（国内）

- 新型コンテナ開発によるリース事業の拡大
- 鉄道輸送を組み入れたクリーン輸送の充実



ISO（国際規格）タンクコンテナ【国内用】

■化成品輸送（海外）

- One-Way事業のさらなる需要開拓
- 中・長期的な安定輸送事業の獲得



ISOタンクコンテナ【海外用】

■コンテナ輸送

- レンタル事業の安定化とリース事業の取り組み強化
- 新型コンテナ開発による新たな市場開拓



冷蔵コンテナ

■太陽光発電

- 適切な保守点検による、安定的・効率的な発電事業運営



JOTソーラーステーション神栖（茨城県神栖市）

■不動産賃貸

- 賃貸物件の稼働率維持・向上
- 保有資産のさらなる有効活用



賃貸物件例：認可保育所と職員用住宅（東京都目黒区）



賃貸物件例：集合住宅（東京都渋谷区）

■ ESG経営の推進

- E: 「クリーンロジスティクスプロジェクト」の推進
 - ・クリーンエネルギーを低コストな輸送・クリーンな輸送で実現
- S: エネルギーの安全・安定輸送による社会への貢献
- G: コンプライアンスの徹底とコーポレートガバナンスの強化



ドライビングコンテスト風景

■ 安全

- 安全運転・作業支援装置の積極的な導入
- 安全教育施設の拡大と教育の充実



安全総合教育センター
(千葉県市川市)

■ 労働生産性の向上

- 効率的な企業運営：組織・構造改革
- デジタルトランスフォーメーション(DX)による新しい労働環境の創出
- 人材確保・育成、働き方改革の推進



LNGトレーニングセンター (茨城県ひたちなか市)

